

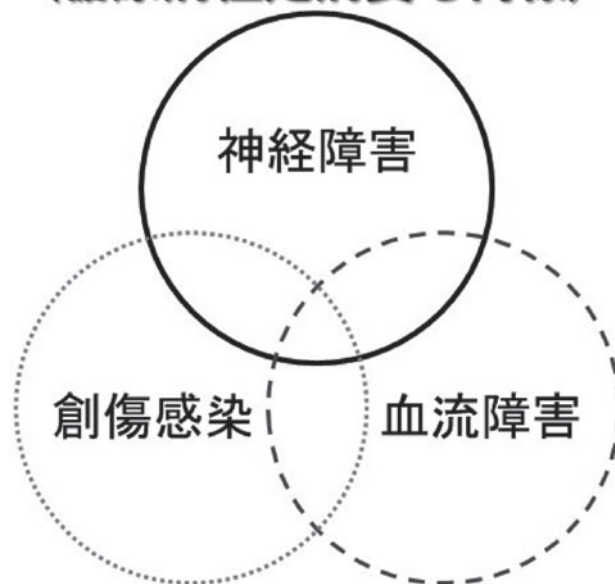
エビデンスレポート:ER-1
エビデンスレポート2017-2018:
臨床 下肢虚血

高木 元^{1) 3)} 桐木園子^{2) 3)} 太良修平^{1) 3)}
宮地秀樹^{1) 3)} 宮本正章^{1) 3)} 清水 渉¹⁾

- | | | |
|----|--------|----------|
| 1) | 日本医科大学 | 循環器内科 |
| 2) | 日本医科大学 | 総合診療科 |
| 3) | 日本医科大学 | 高気圧酸素治療室 |

下肢は心臓から最も遠い臓器であり、血流障害を来すと切断を余儀なくされるのみならず生命予後までも悪化させるため、虚血性下肢潰瘍は動脈硬化症の終末像と言われている。末梢動脈疾患(peripheral artery disease: PAD)の有病率は先進国で多く、年齢とともに上昇するため、我が国では特に診療対策を考慮しなければならない領域のひとつである。かつてより重症下肢虚血と言われてきた重症のPADは、血流障害に加え、その発症に糖尿病などによる神経障害や創傷感染など多因子が関わっていることから(図)動脈硬化のみでは説明、管理が不十分となりがちである。このため、欧州心臓病学会による末梢動脈疾患の新ガイドラインにおいて、包括的高度慢性下肢虚血肢(Chronic Limb-Threatening Ischemia: CLTI)と定義された。保存的治療である高気圧酸素治療(HBO)はこの複合的病態のいずれにおいても有用性が認められており、昨今無作為割付試験(RCT)も報告されるようになってきている。CLTIへのHBOの効果はRCTで4週後の潰瘍径の改善に有用性ありと報告される一方¹⁾、1年後の創傷治癒率と下肢切断率に差は無いと報告された。原因として35%がHBOを継続できていない等物理的な問題も指摘されている²⁾。最新のガイドラインではHBO単独で6週までの創修復効果を評価する一方³⁾、RCT結果より各種血行再建術との併用を推奨している⁴⁾。

難治性創傷は複合的病態 (糖尿病性足病変も同様)



参考文献

- 1) Perren S, et al. Hyperbaric Oxygen Therapy in Ischaemic Foot Ulcers in Type 2 Diabetes: A Clinical Trial. *Open Cardiovasc Med J.* 12:80-85, 2018.
- 2) Santema KTB, et al. Hyperbaric Oxygen Therapy in the Treatment of Ischemic Lower- Extremity Ulcers in Patients with Diabetes: Results of the DAMO2CLES Multicenter Randomized Clinical Trial. *Diabetes Care.* 41:112-119, 2018.
- 3) Kranke P, et al. Hyperbaric oxygen therapy for chronic wounds. *Cochrane Database Syst Rev.* CD004123, 2015.
- 4) Conte MS, et al. Global vascular guidelines on the management of chronic limb-threatening ischemia. *J Vasc Surg.* 69:3S-125S e40, 2019.